2024年度看護学科

一般選抜

受験番号						氏名	

国　　語

（100点　50分）

注　意　事　項

1. 試験開始の合図があるまで，この問題冊子を開いてはいけない。
2. この問題冊子は16頁ある。試験開始後，頁の落丁・乱丁及び印刷不鮮明，また解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に知らせること。
3. **監督者の指示にしたがって，解答用紙の該当欄に以下の項目をそれぞれ正しく記入し，マークせよ。**

⑴　**受験番号欄**

受験番号を5ケタで記入し，さらにその下の**マーク欄**に該当する**5ケタをマークせよ。**　（例）受験番号20025番→ | 2 | 0 | 0 | 2 | 5 | と記入。

⑵　**氏名欄**

氏名・フリガナを記入せよ。

4. マークシートについて

⑴　受験番号が**正しくマークされていない場合は，採点できないことがある。**

⑵　解答は，解答用紙の注意事項をよく読み**解答欄**に**ＨＢ鉛筆**で正確に**マーク**せよ。例えば | 20 | と表示された問題の正答として④を選んだ場合は，次の(例)のように**解答番号20の解答欄**の④を**濃く完全にマーク**せよ。**薄いもの，あるいは不完全なものは解答したことにはならない。**

（例）

解答番号	解　　答　　欄
20	①　②　③　●　⑤

⑶　解答を**修正**する場合は必ず「消しゴム」で**あとが残らないように**完全に消すこと。鉛筆の色や消しくずが残ったり， のような消し方などをした場合は，**修正**したことにならない。

5. 試験終了後，**問題冊子**および**解答用紙を机上**に置き，試験監督者の指示に従い退場しなさい。

第1問　次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。（配点50）

数年前、日本人学生対象の授業で、教科書に載っている短い文章を音読するというテストを実施した。学生が数人ずつ前に出て、指定された箇所を読み上げる。前に出てきた学生の一人が私に言った。

「教科書、忘れてきちゃったんです。貸してもらってもいいですか」

私は「いいですよ」と答えた。教科書を持たずに教室に来るというのは困ったことだが、忘れてきてしまったものを今さらとやかく言ってもしょうがない、今日のところは友達に借りるなりして読むほかないだろう。私はそう考えながら、学生が教科書を調達してくるのを待とうとした。

ところが、当人はその場を動こうとしない。しかも何かを待っている様子だ。その視線は教卓の上の私の教科書に向けられている。このときになって初めて、学生の言った「貸してもらってもいいですか」の意味を理解した。友達に貸してもらってもいいかと私に許可を求めたのではなく、私の教科書を貸してほしいという依頼だったのだ。

なぜ学生は、「貸してください」と言わなかったのだろうか。あるいは、ほかにも言い方はいくらでもある。「貸してもらいたいんですけど」「借りたいんですけど」「貸していただけますか」「お借りできますか」などなどなど。

「貸してもらってもいいですか」（ないし「貸してもらっていいですか」）と言うときには、話者と相手のほかに、もう一人の人物の存在があると、私は長い間思っていた。たとえば、試験を受けている最中に、消しゴムを忘れた学生が隣に座っている友達に借りようとする。しかし、横を見たり手をのばしたりすると、監督者にフシン(ア)を抱かれる恐れがある。そのため、「隣の人に消しゴムを貸してもらってもいいですか」と試験監督に声をかけて、許可を得ておく。すべて言葉にしなくても、横にある消しゴムを指差して、「貸してもらってもいいですか」とだけ言ってもよい。消しゴムを貸すという動作を行うことが期待されているのは、質問が向けられている相手ではなく、別の人間だ。相手にはあくまで許可を求めていて、貸してくれとは言っていない。これが私の認識だった。

許可を求める形をとって相手に依頼する言い方が流行り始めていることに、気づいてはいた。音読テストの少し前だったと記憶しているが、テレビでお笑いタレントが先輩芸人に向かって、「ちょっと待ってもらっていいですかァ」と言ったのだ。先輩が後輩をからかって、あることないことを面白おかしくしゃべっていたときに、後輩タレントの口からこの言葉が出た。そのような場面で相手の発言を(イ)セイするのに、お笑いタレントたちがよく用いていた表現は、「ちょっと待ってくださいよォ」だった。「ストップ！」「その話はやめてください」「そんなこと言わないでください」の意味で使われる、「ちょっと待ってください」だ。

「待ってください」という依頼の表現が、「待ってもらっていいですか」という許可を求める表現になった。その変化を目の当たりにして、テレビの影響は大きいから、今後この言い方がどんどん広まっていくだろうと気が重くなった。気重の理由は二つだ。一つは、外国人学生用の日本語教科書に載っていない言い方がまた増えたこと、もう一つは、第三者の存在を暗示するような紛らわしい表現をわざわざ用いて遠回しに言わないと、人にものを頼むことすらできなくなったことだ。

テレビでお笑いタレントが言うのを聞き、その後まもなく日本人学生に言われてから数年たって、ついに、外国人学習者がこの言い方を口にするのを聞いた。ちょうど試験の最中で、一人の学生が私に、「窓閉めてもらってもいいですか」と言ったのだ。風が吹き込んで寒かったのだと思う。テスト中でなければ、「窓を閉めてもいいですか」と一言断って、自分で閉めにいったことだろう。日本語の能力が高く、受講態度もよい学生だった。すでに一般の日本人はごく普通にこの言い方で依頼を表していたから、周りの日本人の使う日本語をよく観察していた学生は、「教室で習わない実践的な文型」として覚えたのだろう。

日本人学生対象の授業で、こうした紛らわしい表現をむやみに使用しないほうがよいのではないかと提案したことがある。すると、複数の学生から反論と質問がきた。まとめると、次のような内容だ。

「この言い方のどこが紛らわしいんですか。**a**許可を求めるって、何ですか。紛らわしいって、どういうことですか。意味がわかりません」

意味を説明しよう。お笑いタレントの「ちょっと待ってもらっていいですか」が定着してしまった今となってはもう遅いかも

しれないが、依頼することと許可を求めることの違いを説明する努力はすべきだろう。

「てもいいですか」という言い方が許可を求める表現であることに、学生たちも異論はあるまい。「ここでタバコを吸ってもいいですか」というのは、「私はここでタバコを吸いたいのですが、許可してくれますか。迷惑ではありませんか。ここは喫煙可能な場所ですか」ということをたずねている。言われたほうは、「もちろん、いいですよ」とか「どうぞ、お吸いください」と許可を与えるか、または、「あ、ここは禁煙なんです。喫煙所はこの先にありますよ」とか「私、煙に弱いんです。ごめんなさい」と言って拒絶することも可能だ。問われたほう、つまり許可を求められた側には、イエスと答える権利も、ノーと答える権利もある。

もっとへりくだった言い方で許可を求めることもできる。「お戻りになるのをこちらでお待ちしていてもよろしいでしょうか。もしお邪魔なようでしたら外に出ておりますが」というのも、その場所で待つことが可能かどうかたずねている。可能ならイエス、不可能ならノーという、どちらかの返事を待つ姿勢だ。

それに対して、自分が待つのではなく相手が待つことを期待する「待ってもらってもいいですか」は、形の上では「てもいいですか」と許可を求める表現になっているが、相手からのイエスかノーの返事を待っているわけではない。**b**の裁量を相手に委ねていない。やわらかい物言いでありながら、有無を言わさぬ命令のようになっている。

へりくだった言葉づかいになると、それがいっそう際立つ。銀行のカウンターで、「おかけになってお待ちいただいてもよろしいでしょうか」と言われると、従来の依頼の表現である「おかけになってお待ちください」や「おかけになってお待ちいただけますか」よりずっと、上から下への命令口調のように聞こえるのだ。「てもよろしいでしょうか」と相手が許可を求めてきているのだから、本来なら「はい」でも「いいえ」でも、こちらの思うままに答えてもよさそうなところだが、この丁重な問いには、「よろしくないです」と答えることが許されない理不尽さを感じる。

「ここでタバコを吸ってもいいですか」という表現の中には、「ここでタバコを吸ってはいけませんか」という意味が含まれるが、依頼として使われる「待ってもらってもいいですか」にはそのような裏の意味がない。そもそも、このような場合に「待っ

てもらってはいけませんか」という言い方自体成り立たない。むろん、第三者が存在する本来の許可を求める表現ならば（たとえば、「先生、患者さんいらしてますけど、診察室に入って待ってもらっていいですか。それとも、待合室で待ってもらいますか」）、「待ってもらってはいけませんか」が成り立つ。

もう一つ例を挙げてみよう。

「隣の人に答えを教えてもいいですか」

「隣の人に答えを教えてもらってもいいですか」

どちらも許可を求めていることにかわりないが、だれがだれに教えるかというと、［ c ］。違いは明らかだ。そして、許可を求められた側は、許可するなら「はい」、許可しないなら「いいえ」と、自らの意思のままに答えればよい。質問者もそれを承知している。

では、次はどうか。

「答えを教えてもらってもいいですか」

だれがだれに教えるのか。だれにのほうははっきりしている。もちろん「私」だ。では、教授する人物は？　これについて、私は紛らわしいと言い、学生は紛らわしくないと言った。私の考えはというと、言葉に出さなくてもほかのだれかの存在を暗示することができるわけで、これはそのケースだから、もう一人のだれか、たとえば隣の人が、「私」に教える、というもの。一方、学生にとってこれは純粋な依頼の表現であり、したがって、今「私」が話している相手、つまり「あなた」が教える。「答えを教えてください」というのと全く同じ意味だということだ。現在ではこの第二の解釈が可能になったことが紛らわしさの原因だと私は思っているわけだが、学生のように依頼の表現としか捉えていなければ、紛らわしくも何ともないことになる。

「タバコを吸わせてください」と言うより、「タバコを吸ってもいいですか」と言ったほうが、ケンキョ(ウ)な印象を与える。下手に出ている。許可を求めているからだ。ほかにも言い方はいくつもあって、「あのう、タバコを吸いたいんですけど」とも言える。これは、控えめに願望を述べて、やはり相手の許可を求めている。

「てください」を始め、数々の依頼の表現があるにもかかわらず、「てもいいですか」（厳密には「てもらってもいいですか」「ていただいてもよろしいでしょうか」）という言い方が好まれるということは、すなわち、ストレートに依頼することができなくなったということだ。許可を求めるというテイサイ(エ)をとらないと、人にものを頼むこともできなくなった。

形の上では遠慮と低姿勢の産物のようなこの表現だが、[1]矛盾をはらんでもいる。相手にノーと言わせない雰囲気があるのだ。現在この言い方を好んで使っている人たちは思ってもみないことだろうが、少なくともこの言葉が使われ始めたころには、この表現の紛らわしさとある種のゴウマン(オ)さに悩まされた人間もいたのだ。

（野口 恵子　「バカ丁寧化する日本語」 一部改）

問1　傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 1 ～ 5 。

(ア) フシン 1

① 貿易のシンコウを図る
② 厳しいシンパンを下す
③ ヘイシンテイトウして謝る
④ 彼はテンシンランマンな性格だ
⑤ 昨今の風潮はカンシンに堪えない

(イ) セイする 2

① 部屋をセイトンする
② 新社屋のラクセイを祝う
③ 暑いのでセイカン剤を使う
④ 選り抜きのセイエイが揃う
⑤ 火山活動がチンセイカする

(ウ) ケンキョ 3

① キョシ的な見地からの分析
② 首相のキョシュウが注目される
③ 父は定年を迎え、インキョした
④ 彼のイッキョイチドウを見守る
⑤ キョシンタンカイに先生の話を聞く

(エ) テイサイ 4

① 壇上でカッサイを浴びる
② 経済上のセイサイを加える
③ 無許可でのテンサイを禁じる
④ 彼は最近セイサイを欠いている
⑤ ショクサイして作った人工の森

(オ) ゴウマン 5

① ゴウヨクな高利貸し
② 地獄のゴウカに焼かれる
③ ゴウホウライラクな性格
④ 社長のゴウガンフソンな態度
⑤ シツジツゴウケンを座右の銘とする

問2　空欄 **a** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 6 。

① これは、話し手が第三者に何かをしてもらいたいときに言う言葉です。許可の表現です。
② これは、話し手が聞き手に何かをしてもらいたいときに言う言葉です。依頼の表現です。
③ これは、話し手が第三者に何かをしてもらいたいときに言う言葉です。命令の表現です。
④ これは、話し手が聞き手に何かをしてもらいたいときに言う言葉です。二重の意味で丁寧な表現です。
⑤ これは、目下の者が目上の者に何かをしてもらいたいときに言う言葉です。謙譲の表現です。

問3　空欄 **b** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 7 。

① 諾否　② 有無　③ 成否　④ 加減　⑤ 当否

問4　空欄 **c** に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 8 。

① 前者は第三者が話しているこの「私」に教え、後者は隣の人が「私」に教える
② 前者は話しているこの「私」が隣の人に教え、後者は第三者が隣の人に教える
③ 前者は話しているこの「私」が隣の人に教え、後者は隣の人が「私」に教える
④ 前者は第三者が話しているこの「私」に教え、後者は聞き手が「私」に教える
⑤ 前者は話しているこの「私」が第三者に教え、後者は聞き手が「私」に教える

問5　傍線部1「矛盾」の説明として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 9 。

① 高飛車な態度で低姿勢な表現を用いるという矛盾。
② 許可を求める表現であるのに、実際には依頼とも命令とも受け取れる二重の意味を持つという矛盾。
③ 依頼のための表現なのに、許可を求める表現の形であるという矛盾。
④ 相手に許可を求める表現であるはずなのに、相手には断ることができない雰囲気があるという矛盾。
⑤ 許可を求める形式であるのに、それに対する「はい」「いいえ」といった返答が期待されていないという矛盾。

問6　本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 10 。

① 「てもらってもいいですか」という言い方は威圧的な命令表現であり、拒否する余地がまったくない。
② 筆者は、外国人学習者が「教室で習わない実践的な文型」として「窓閉めてもらってもいいですか」という表現を口にしたため、授業でのこの誤用を禁止した。
③ 「てもらってもいいですか」という表現は、学生たちの間ではすでに許可を求める表現としては使われなくなっている。
④ 「答えを教えてもいいですか」という表現も「答えを教えてもらってもいいですか」という表現も、どちらも話し手と聞き手以外の第三者の存在を前提としていると解釈する余地はまったくない。
⑤ 「てもらってもいいですか」という表現が本来許可を求める表現なのに、現状では依頼を表す表現として使われていることを、筆者は肯定的に見ているわけではない。

第2問　次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。（配点50）

感情はさまざまな視点からとらえることが可能である。ここでは二分法が有効で、感情を大きく「生命としての情動」と「情報としての感情」に分けることができる。生命としての情動は身体の内部環境、自然環境、そして集団の社会環境の中で生き延びるための行動決定の機能であり行動の選択と評価の役割をしている。

しかし、生命としての情動だけでは複雑な社会環境の中で生きていくことは難しく、「生命としての情動」とは別に「情報としての感情」という機能をも進化させてきた。

「情報としての感情」のみを考察の対象とすると、いま身体に関連した、また生存に関連した「生命としての情動」を［ a ］して、独立に操作可能な対象として感情をとらえることができる。ここで感情を数値化して考察できれば、いままでコンピュータ科学で研究されてきた記憶や認知、パターン認知で考察したのと同じ操作がコンピュータ上で可能になる。そうなるとこれまで医学や生理学、心理学のテリトリーで扱いにくいという印象は取り払われ、人間の感情を工学的に制御し加工することが可能となる。こうなるとさらにロボット技術の進歩と重なって喜怒哀楽の感情を商品とする巨大な「感情の商品化」や「感情ビジネス」が展開できるようになる。これが[1]「商品としての感情」の考え方の基礎にあるものでもあり、生命としての感情が持つ価値判断としての役割部分を切り離し、単に情報として扱うことの結果を意味する。しかし強調しておきたいことは「情報としての感情」として取り扱える感情は、広い感情の一部に過ぎないことである。

時代は、少子高齢化、労働人口の減少、絆社会の崩壊などに直面しており、人びとの心の状況は大きく変貌を遂げ、家庭やサービス産業、(ア)カイゴ分野で、自分を確認し、他人との良好な関係を再構築するための感情のコントロールのニーズが強く求められるようになってきている。サービス分野では、無表情な顔や事務的な会話よりもフレンドリーな笑顔や対応が強く求められるようになってきた。これがより顧客に好印象を与えてリピーターとなり、またショッピングでは心のこもった対応が気持ちよく商品を注文してもらえる必須アイテムになった。さらに企業からみれば、フレンドリーな感情を持つロボットは、二四時間、

文句も言わず働いてくれる人間の代替になる。現在、企業は利益につながるとして接客教育に資金をあてがっているが、それでも人間だから対応次第ではトラブルが起こってくる。それを考えると、社会的ニーズとコンピュータ技術やＡＩ技術の進歩が相まってコンピュータ制御された感情が商品としての意味を大きく持つことになる。社会科学でいうところの感情労働がＡＩやロボットによる代替として求められてくるということになる。また感情表現の要求だけでなく感情認識においても、広告やメディア、マーケティング調査、警備、受付などの場で顧客の感情を読み取る感情認識が進めばより温かいもてなしが可能となる。

科学技術の進歩は大きな目で見れば、つねに人間の能力の機械への代替であった。車という道具は人間が運べる物量と移動の拡大、増強であり、生産機械は手でできる生産の拡大であった。通信は人と人の直接交流から手紙、電話へとコミュニケーションの拡張である。計算機は計算能力や記憶能力の拡張であり、これらをながめればつねに人間の能力を補完し代替するために科学技術の進歩はあったといっても過言ではない。そのとき、「感情」だけが攻略不能なセイイキ(イ)であるとは考えにくく、感情を数値化商品化してサービスに付しても十分社会で通用することができるとわかった段階で、感情コミュニケーションの代替がソーシャルビジネスの展開として広がっていくことになる。

人との接点における感情表出は、言語的表現と非言語的表現の二種類がある。言語表現とは人が「楽しい」と感じると言葉で「楽しい」と表すことである。一方、非言語的表現とは、その「楽しさ」を、眼の動き、表情、声の調子、しぐさを通して表現することで、言葉による表現をさらに補強する機能を持つものである。

感情を「情報としての感情」とみなすと、人間が示す感情を言語的表現と非言語的表現の双方の有限個の数値表現として整理することができる。ここでいう数値化とは感情のラベルと強度を数値にオキカ(ウ)え、統計処理を行いやすく一般化し、それを記憶装置に蓄積できることを意味する。日本語の感情語辞典では、感情を表す日本語は古い言葉も含めて三千個程度がリストされており、感情を表すキャーキャーとかシクシクなどの擬声語をも含めても四千個あたりが知られているだけである。ここで重要なことは、感情を表す基本的な言語数は有限個であることである。人間はそれに加えて、その強さを表す形容詞を付け、速さや強度を調節して、感じたあらゆる感情を表してきた。非常に怖かった、あまり怖くなかった、非常に楽しかった、あまり面白くな

かったなどと無限の種類のアナログ的評価で感情を表してきた。小説を読めば非常に複雑な人間の心の綾を巧みな言葉とその組み合わせで表現している。氷のような冷たい心、炎のように燃えた愛、天にも昇る心地、うれし涙などの表現をながめると、人の感情を表す表現は無限であると思うことができるが、日常生活で使われる感情表現は限られている。

一方、非言語的感情表現は目の動き、表情と声の変化やしぐさが主となる。表情はヒトにおいて言葉以外に最も進化した感情表現法であり、しぐさによるボディ・ランゲージは感情表現の補助となる。犬やサルにおいて相手を(エ)イカクするときは、口をあけ唸(うな)り声をあげる身体表出をしている。ヒトでは表情の豊かさはまさり、表情筋の制御は多様になり緻密にもなった。

感情コミュニケーションにはこのように言語的表現と非言語的表現があることが示されたが、ここで言いたいことは、それらのどちらも基本的な有限の基本パターンに区分することができ、かつそれらを通して感情が数値化できるということである。これは感情を情報としての感情として考える考え方で、感情を数値としてオキカえ、さらに有限個のパターンに分類すると、これらはコンピュータによる計算の範疇(はんちゅう)に入ってくる。

これまで感情はアナログ的でコンピュータでは取り扱いにくいと考えられていたが、感情をラベル化し、これまで計測されてきた心拍波計や脳波のアナログ的な数値を加えた感情多次元マトリックス(注1)上に分類して統計操作にかければ、感情のビジネス化は実用のうえでも、または社会的にも、十分に使用に耐えうるようになる。ソフトバンクから販売されている感情ロボット・ペッパーはヒトの感情メカニズムを参考に七種類の神経伝達物質をベースにした基本感情が使われている。感情ロボットはＡＩを使った自然言語の解析から感情語を抽出し、その頻度や組み合わせの統計、動作の評価などのデータを解析し、一般的にかつ迅速にその人物の複雑で多様な感情特性を数値として把握している。さらに数値化されているので新たな経験はデータとして追加、修正、記憶が容易になり予測確率の向上が見込まれている。しかし簡単でない[2]部分があることも事実で、会話の内容から言葉のどの部分を感情語として評価し分類するかは、現在のＡＩや(オ)チクジ型(注2)コンピュータ技術で苦手とするところである。それに状況に合わせた文脈の中での感情の識別となるとさらに難しく、たとえば同じ言葉でも本当に嬉しい場合と義理で嬉しいというときの違いや、禁断の恋、愛と憎しみの両方を抱くアンビバレントな感情を示していることがあり、感情の識別や認知は、それ

が単純に一種類の純粋な感情から成り立っていないために非常に難しい。また時々刻々変化する不安定な感情を同定することも難しい。ある状況で笑って泣いて怒ってと短時間で変化した場合、人間でもどれが本当の感情であるか決めるのは難しい。さらに泣きながら愛を告白するといった言葉と表情の不一致の場合もその識別には高度な判断が要求される。しかしＡＩの自然言語処理能力の向上は著しく、この能力はＡＩが得意とするところであり、複数の感情が組み合わされた複合感情といえども簡単にランクを伴った多次元マップ上の分類で表される。このように感情を情報としての感情ととらえ、**b**　を可能にし、感情識別をＡＩに任せ、その感情テーブル(注3)を仮定したところが今日の感情エンジンやエモーション（感情）チップである。将来に向けて、感情の区分のＪＩＳ(注4)化をめざす技術者まで現れる時代である。この技術が進めば、人生のイベントの記憶は、事実だけでなく感情の変数を伴って記憶できるため、コンピュータによる記憶はより人間の経験のエピソード記憶に近づくことになる。

（福田 正治　「人工感情――善か悪か――」一部改）

（注）１　マトリックス　…　縦と横の行列形式の表。

２　チクジ型コンピュータ　…　ＣＰＵ（中央処理装置）が主記憶装置から命令を「取り出し」、「解読」、「実行」、「書き込み」するという一連の流れでプログラムを実行する方式のコンピュータ。

３　テーブル　…　表計算ソフトやデータベースにおけるデータ要素を縦横に配した表。

４　ＪＩＳ　…　日本産業規格。日本の国家標準のひとつ。

問1　傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 11 ～ 15 。

(ア) カイゴ 11

① おセッカイを焼く
② 大臣をカイジュウする
③ カイモク見当がつかない
④ カイリツを重視する宗教
⑤ キシカイセイのホームラン

(イ) セイイキ 12

① 北海道へエンセイする
② 教会はシンセイな場所だ
③ 消費セイコウが低下している
④ 会はセイカイのうちに終わった
⑤ 物価問題をセイソウの具とする

(ウ) オきカえ 13

① キダイの歌姫
② 思想上のヘンセツ
③ 父はカンレキを迎えた
④ 一億円で契約をコウカイする
⑤ カンゲンすれば、彼は怠け者だ

(エ) イカク 14

① 法律にイハイする
② 自然のキョウイである洞窟
③ イショウを凝らした彼の作品
④ 戦争のキョウイにさらされる
⑤ 歴史に残るイギョウを達成する

(オ) チクジ 15

① キチクの所業
② ガンチクのある言葉
③ 仕事がチチとして進まない
④ 独自の理論をコウチクする
⑤ 悪貨は良貨をクチクする

問2　空欄 a に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 16 。

① 捨象　② 制御　③ 認知　④ 商品化　⑤ 数値化

問3　傍線部1「商品としての感情」の説明として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 17 。

① 「商品としての感情」が大きな意味を持つようになった背景には、社会の中で感情をコントロールする必要性が高まってきたことがある。

② 「商品としての感情」は、まず第一に、感情労働をＡＩやロボットに代替させるために研究されてきた。

③ 「商品としての感情」は、人間の能力を機械に代替することとは、直接関係がない。

④ 「商品としての感情」は、「生命としての情動」を操作可能なものとして数値化したものである。

⑤ 「商品としての感情」は、「生命としての情動」と「情報としての感情」を含む。

問4　傍線部2「簡単でない」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の選択肢①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 18 。

① 会話の内容から言葉のどの部分を感情語として評価し分類するかは文脈の中で判断することになるが、感情がチクジ的になることはないから。

② 感情はつねにアンビバレンスをはらんでおり、識別が困難であるから。

③ 人間ですら、どれが自分の本当の感情かわからないのに、機械にそれがわかるはずもないから。

④ 感情はアナログ的で、評価・分類・識別・認知が難しい側面を有しているから。

⑤ ＡＩの自然言語処理能力には、本質的に限界が存在するから。

問5　空欄 b に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 19 。

① 相対化　② 物質化　③ 主観化　④ 数値化　⑤ 絶対化

問6　本文の内容に合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 20 。

① 将来、感情チップなどの技術が進むと、人生のイベントは、事実だけではなく感情の変数を伴って記憶されることになる。

② ＡＩによる、泣きながら愛を告白する場合の感情の識別は、自然言語処理能力の限界を超えているため、精度が低い。

③ 「情報としての感情」は、言語的表現と非言語的表現に整理することができ、それらは、記憶装置に蓄積することが可能である。

④ 感情をラベル化し、感情多次元マトリックス上に分類し統計操作することで生命としての情動を商品化することは完了する。

⑤ 感情表現や感情認識の技術が進むことで、より温かいもてなしが可能になるが、そのことは、少子高齢化や労働人口の減少のような社会的な現象とまったく関係がない。